

町より

新年のご挨拶



肝付町長
永野 和行

あけましておめでとうございませう。

町民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、町政の運営に對しご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症が、昨年5月から5類へ引き下げられ、徐々に日常に戻るように感じになってきた1年ではなかったかと思えます。これもひとえに、地元医師会をはじめ、医療・福祉・介護を担う皆様方の献身的な取り組み、そして町民一丸となり感染拡大防止に取り組んだ成果だと心

から感謝いたします。ただ、コロナで経済は

疲弊した上に肥料や飼料の高騰、ガソリンなどエネルギーの高騰が追い打ちをかけ厳しい年でもありました。そのため、大

きな影響を受けた農林水産業や商工業、年金生活者や子育て世帯への支援を行ったところです。

さて、昨年10月には「かごしま国体」が開催され、肝付町へ佳子内親王殿下



がお成りになり、勇壮華麗な900年の伝統を誇る「高山流鏝馬」をご高覧いただきましたことは、大変栄誉なことでありました。

昨今の人口減少は避けられない中、次世代のために果敢に挑戦し、安心して暮らせる町を創るため、デジタル推進課・宇宙のまちづくり推進課を

設置するとともに、空き家対策や移住定住の促進、子育て支援の充実を推進してきました。その様な取り組みが評価され、昨年「住みたい田舎ベストランキング」で子育て部門第1位(南九州・沖縄)に輝き、人口1万人以上2万人未満におい

ても全国第2位でした。本年も引き続き、教育から医療・農林水産業・商工業のデジタル化の推進と特に宇宙産業の推進に取り組むことで、町の賑わいを

創出し、地域経済の活性化を図るとともに、人生100年時代、誰もが安心して暮らし続けられる町の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。

本年が、皆様にとりまして健康で幸多き年となりますよう、祈念申し上げます。

